

総合的な学習の時間とは(学習指導要領による)		本校の総合的な学習の時間について	
地域や学校、児童の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動を行う時間であり、その名称は各学校が定めます。 <ねらい> ①自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ②学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。 ③各教科、道徳及び特別活動(各教科、科目及び特別活動)で身につけた知識や技能などを相互に関連づけ、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。		本校での、総合的な学習の時間の主な学習内容は、次の通りです。 ① オリエンテーション (2 時間) ② テーマ学習 (5 0 時間) ③ コンピュータ学習 (1 8 時間)	
学習内容(時間数)		つけたい力	
前期	荒神から発信 ～ふしぎ!発見～(25時間) 具体的な学習活動 荒神町じまんをしよう 調査活動をする 名所マップを作る ねらい 調べることを通して、地域のよさを見つけ、愛着を持つ。	オリエンテーション(2時間) ・疑問を整理・発見し、自らの課題を見つける力を育てる。 ・見通しを持って課題解決への方法を知る。 コンピューター学習(9時間) ・基本操作間を知る。 ・取り扱いの基本マナーを知る ・必要な情報を調べる基本操作を知る。	【であう力】 ○ 疑問をもつ。 ○ 自ら調べてみようとする意欲を持つ。 【つかむ力】 ○ いくつかの課題の中から、自分にあった課題を選ぶ。 ○ めあてをもつ。 ○ 類似課題の児童同士でグループの友だちと共に見通しを持ち、計画を立てる。 【調べる力】 ○ 様々な方法があることに気づく。 ○ 自分にあった方法で調査したり、情報を収集したりする。 ○ 必要な情報を選ぶ。 ○ 情報の事実をもとに、自分の考えをもつ。 ○ 情報を教えあい、意見を交換したり、共に考えたりする。 ○ 新たな事実や考えを発見する。 【まとめる力】 ○ 多様なまとめ方があることに気づく。 ○ 課題に沿って、わかったことをまとめる。 ○ 学級や学年間で友だちを意識しながら分かりやすく伝える。 ○ 自分が取り組んだ活動を振り返り、様々な方法があることに気がつく。 ○ 活動の取り組み方で、自分の友だちのよかったところに気づく。 ○ 充実・充足感を味わう。 ○ 学習に関連したことに興味を持つ。 【かかわる力】 ○ 施設等の訪問先では、あいさつや言葉遣いなどに心を配る。 ○ 相手の話を受け、自分の思いや考えを分かりやすく伝える。 ○ 友だちのよいところに気づく。 ○ 意欲的に体験活動に参加する。 ○ 課題に対して前向きに取り組む。 ○ こだわりをもって活動を続ける。
	荒神から発信 ～ふしぎ!発見～(25時間) 具体的な学習活動 荒神町のめざせバリアフリー 調査活動をする 南授産所との交流 車椅子、補聴器、盲動犬など調べる 新聞を作る ねらい 福祉に関係あることを調べることを通して、地域のよさを見つけるとともに、より暮らしや	コンピューター学習(9時間) ・ローマ字入力を知る。 ・必要な情報を調べる基本操作を知る。	
年間授業時間	70		
授業の工夫	○ 学習計画や学習したこと等をまとめていくファイルを用意し、自分の活動を振り返りながら学習ができるようにする。 ○ 地域に出かけ、体験や見学をする学習を取り入れる。 ○ コンピュータ学習では、文字入力のやり方を中心にすすめたり、メールなどの活動を取り入れ文章を作ったりすることができるようにする。		
評価について	○ テストは行わず、つけたい力を中心に学習の様子やファイルへのまとめ方などを中心に評価する。		
学習方法(家庭学習)など	○ 子どもたちが自分で調べようとするところがあるので、わからない言葉や漢字について家庭の協力を ○ グループでの調査活動の際には、安全面について家庭での協力を求める。		